

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 40 回会合 議事録

ご注意：

- ご参加いただいた方はすべて 議事録にお名前とご所属が掲載され公開 されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで 発言録および録画が公開 されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。
- 参加者全員宛のチャットの内容も公開されます。

開催日時： 2023 年 10 月 2 日(月)17:00-18:16

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）

姓	名	所属	姓	名	所属
今井	賢治	京都情報大学院大学	西山	伸夫	日本 IT 団体連盟
片柳	早苗	総務省	Peake	Adam	ICANN
加藤	幹之	MK Next	Honda	Sei	個人
河内	淳子	CFIEC	望月	俊晴	総務省
Suga	Yuji	Internet Initiative Japan Inc.	森口	友里	株式会社インターリンク
高松	百合	JPRS	山崎	信	JPNIC
Dammak	Rafik	ICANN NCSG	山中	敦之	JICA
西潟	暢央	総務省	Watanabe	Junki	朝日新聞社

参加者数： 16 名

司会進行： 加藤 幹之

議事録作成：山崎 信

資料：（なし）

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認 [5 分]

- IGF 2023 ホスト(政府)としての検討状況報告
- IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告
- 日本 IGF タスクフォースからの報告
- NRI に関する報告
- 日本インターネットガバナンスフォーラム 2023 に関する報告

● 本チームの今後

2. 前回議論の振り返り [5分]

- 第39回会合の概要：[第39回議事録](#)

3. 宿題の進捗確認 [5分]

[IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム todo 一覧表](#)を参照のこと

4. IGF2023 ホスト（政府）としての検討状況報告 [10分]

- 総務省国際戦略局からの参加がないためスキップ

5. IGF MAG からの報告 [5分]

- 先週 MAG 会合開催、その時点では 5,300 名登録、今朝時点では 6,100 名登録とのこと。京都には 4 千名ほど来るのではないか。
- 2, 3 決まっていなかったものがあるがほぼ決まった。
- 会議スケジュール 9/29 版が用意されているとのこと。
- ビザが下りない問題は、アフリカの特定の国に集中しているらしい。

6. [日本 IGF タスクフォース](#)からの報告 [5分]

- WG、運営委員会とも開催されていない
- 【意見】活発化チームとして提案していくべき

7. NRI に関する報告 [5分]

- 第9回 NRI 会合を 9月25日に開催。主な議題：
 - NRI メインセッションの最終確認
 - NRI コーディネーションセッションの最終確認
- NRI Collaborative Session: [AI and Emerging Tech](#) (10/9 月 15:30 - 16:45 JST)
- NRI Collaborative Session: [Cybersecurity](#) (10/10 火 11:00-12:30)
- NRI Collaborative Session: [Inclusion](#) (10/11 水 11:00-12:30)：話者、モデレーターがすべて決定

8. 日本インターネットガバナンスフォーラム 2023 に関する報告 [5分]

- 資料・録画を公開
- セッションの要約を公開
- 要約英語版をレビュー中

9. 本チームの今後 [20分]

- 次回会合以降議論したい。
- 活発化チーム活動の総括をした方がよいのではないか。
- マルチステークホルダーでの参加

- 会費を集めてコストを回収するなどの検討を行ってはどうか
- 日本の NRI がこれでよいのか、どう改めていくか
 - IGF2024 サウジアラビアを目指して活動していったらどうか
 - 何をやらなければならないかを整理する
- 開店休業中の既存団体との関係性、立ち位置を考えた方がよいのでは
- IG と IGF とを分けるべきか、IG に関わりたいのか IGF に関わりたいのか
- 前回会合時の提議（特に異議なし）
 - IGF 京都 2023 後について考えたい
 - 本活動は IGF 京都で終了するのではなく、将来が決まるまでは継続する
 - IGF 京都の報告会を実施したい
 - 継続に当たっては活発化チームの名前を変える必要がある。
 - 同時に運営方法も検討したい

10. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5分]

- IGF 京都の日本からのオーガナイザーリストを共有する
- 9. について各自考える。

11. 次回打合せについて [5分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
 - IGF 京都 2023 の振り返り
 - 国内 IGF 活動の今後について
- 次回打合せの開催時期
 - 前回第 39 回会合時に 10 月 30 日に開催することとする、と決定した

12. その他

- 特になし

以上